

平成29年度 基本評価調査

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	所管部局	経済部	作成責任者	経済部長 阿部 啓二	施策コード	05 - 13
		照会先	科学技術振興室科学技術振興G 011-204-5126(内線26-832)	関係課	科学技術振興室		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
	2	経済・産業	(4)	新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	C	本道の活性化に役立つ科学技術の振興	産学官の共同研究件数
2	経済・産業	(4)	新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	A	健康長寿・医療関連産業の創造	—	
北海道創生総合戦略	A3412, A3841, A3842, A3851		北海道強靱化計画		新・北海道ビジョン	C01304, C01305, C01805, C02205, C02206, C02208, C03101, C03201, C03202, C03707, C04001, C04003, C05801, C06502, C06504, C06505	
特定分野別計画等	新北海道科学技術振興戦略、新・北海道知的財産戦略推進方策						

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・本道の経済の活性化と自立的発展、安全で安心な生活基盤の創造及び環境と調和した持続的な社会の実現に寄与することを目指し、道では、国の大型プロジェクトを活用した研究開発拠点の形成や研究開発機能の充実など、科学技術の振興に取り組んでいるが、全国一広大な本道において産業の振興を一層図るためには、各地域の様々な特性や政策課題を踏まえつつ、産学官金の関係者が強固に連携をとりながら、大学を核とした研究開発拠点の形成や、地域資源を生かした新事業・新産業の創出など、本道経済の自立化及び活性化に向けた取組を進める必要がある。</p>	施策目標	<p>・本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転などを促進し、地域におけるイノベーションを生み出す仕組みを構築するため、産学官金等の協働や、研究開発拠点の形成などを推進する。</p> <p>・公設試験研究機関や産業支援機関などを活用した産業ニーズや課題に対応した技術支援、航空宇宙分野の研究開発や実験の誘致活動など、新たな価値を生み出す研究開発の取組を推進する。</p> <p>・科学技術に親しむ機会の提供や、科学技術・産業の発展などを担う人材の育成・確保を進めるとともに、新事業、新産業の創出に結び付く知的財産の戦略的な創造・保護・活用に係る取組を推進する。</p>
-------	---	------	--

施策の 推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	2(4)C	【科学技術の振興】 [国]科学技術振興法に基づき科学技術基本計画を策定 [関係者]国、学界、産業界、国民等 [道]科学技術振興条例及び北海道科学技術振興戦略に基づく各種取組	2(4)C	【知的財産の創造・保護・活用】 [国]知的財産基本法に基づき知的財産推進計画を策定。知的財産に関する重要施策の企画・推進及び実施 [道]知的財産基本法に基づき新・北海道知的財産戦略推進方策を策定、及び各種施策の実施 [関係団体]北海道知的財産戦略本部によりオール北海道の推進体制を構築。関係機関と連携した各種施策を推進	H27	319,525
	2(4)C	【産学官連携】 [国]科学技術基本計画に基づく施策の実施及び調整 [道]北海道科学技術振興戦略に基づく施策の実施および調整 [大学等]大学・試験研究機関の中期目標・中期計画に基づく研究開発の実施及び地域貢献 [支援団体]研究開発の支援、研究成果の普及及びコーディネート活動 [金融機関]意欲ある取組の発掘及び育成、事業化に向けた産学官への助言 [事業者]研究開発、新技術の導入、研究成果の実用化、新製品の創出等	2(4)C	【技術支援の推進】 [道]道立工業技術センターによる研究開発、技術支援 [産業支援機関]参入促進支援事業(補助事業)に係るものづくり企業の技術向上	H28	327,745
	2(4)A 2(4)C	【産学官連携】 [国]科学技術基本計画に基づく施策の実施及び調整 [道]北海道科学技術振興戦略に基づく施策の実施および調整 [事業者]ヘルスケアサービスモデルの構築に向けた実態調査、普及啓発の実施等			H29	892,760

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	2(4)C	【科学技術の振興】 ○様々な機関との相乗効果のある科学技術イベントの効果的な実施 ◎次期「北海道科学技術振興計画」の策定	2(4)C	【知的財産の創造・保護・活用】 ○地域団体商標制度の普及啓発 ◎北海道知的所有権センターの運営を通じた道内中小企業の開放特許の活用支援
	2(4)C	【産学官連携】 ◎本道の強みを活かした産学官連携の推進 ◎航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向けた取組の推進 ◎国内外との競争力を備えた研究成果の事業化や実用化等の推進 ◎札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援	2(4)C	【技術支援の推進】 ◎地域の産業支援機関や道立工業技術センターによる技術支援等の推進 ○関係市町等との協議により取りまとめた、道立工業技術センターのあり方に係る取組の着実な推進
	2(4)A 2(4)C	【産学官連携】 ○ヘルスケアサービス振興に向けた基盤の構築 ◎札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援 (再掲)		

<前年度意見への対応>

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
2(4)C	<p>【科学技術の振興】</p> <p>○様々な機関との相乗効果のある科学技術イベントの効果的な実施 ・「2017サイエンスパーク」を道総研との共催で実施。子ども達に科学技術を身近に体験し、理解を深めてもらうためのイベントとして56機関の連携・協力の下、約2,400名(うち児童約1,300名)が来場した。</p> <p>◎次期「北海道科学技術振興計画」の策定 ・北海道科学技術審議会及びその部会において検討中(第1回審議会5月10日、第1回部会5月10日、第2回部会) ・地域懇談会を開催し、意見を聴取(H29.7 道内6地域)</p>			C06505	
2(4)C	<p>【知的財産の創造・保護・活用】</p> <p>○地域団体商標制度の普及啓発 ・地域団体商標制度の周知に取り組んできた結果、平成28年度の地域団体商標の新規出願数は1件増えて累計52件となった。</p> <p>◎北海道知的所有権センターの運営を通じた道内中小企業の開放特許の活用支援 ・特許流通サポーターによる企業訪問等の活動により、平成28年度の特許流通相談件数は目標(630件)を大きく上回る725件となり、うち、22回の技術シーズ紹介、9件のマッチングに結びついた。</p>				
2(4)C	<p>【産学官連携】</p> <p>◎本道の強みを活かした産学官連携の推進 ・北大リサーチ&ビジネスパーク構想の推進や全道産学官ネットワーク推進協議会の開催など、本道の強みを活かした産学官連携を推進し、平成28年度は1,147件(前年度比14件増)の産学官の共同研究が実施された。</p> <p>◎航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向けた取組の推進 ・大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、航空宇宙分野における研究・実験が道内で新たに1件開始された。また、平成29年7月にインターステラテクノロジズ社が、大樹町において民間主体では初となる宇宙空間を目指して観測用ロケットの打上実験を行った。</p> <p>◎国内外との競争力を備えた研究成果の事業化や実用化等の推進 ・国の大型共同研究プロジェクトであり、健康科学・医療融合拠点の形成を目指す、地域イノベーション戦略支援プログラム「Smart-H」を推進し、40件の実用化が図られた。</p> <p>◎札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援 ・「健康・医療分野」等を重点分野として、産学官連携による研究開発に支援を行っている。</p>	A3412 A3841 A3842 A3851		C01305 C02205 C03101 C03201 C03202 C03707 C04001 C04003 C05801 C06502	

2(4)C	<p>【技術支援の推進】</p> <p>◎地域の産業支援機関や道立工業技術センターによる技術支援等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道立工業技術センターにおいて個別技術支援を390件実施した。 ・地域の産業支援機関を通じた技術の高度化や事業化加速に向け、8機関にコーディネーターを配置し企業支援を実施。 <p>○平成28年11月に関係市町等との協議により取りまとめた、道立工業技術センターの施設改修や機器整備など、施設のあり方に係る取組の着実な推進</p>	A3412		C01304 C01805 C02206 C02208 C06504	
2(4)A 2(4)C	<p>【産学官連携】</p> <p>○ヘルスケアサービス振興に向けた基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアサービスに関するビジネス環境の実態把握や道内地域別健康データの分析等を行い、ヘルスケアサービスの振興に向けた基盤構築を図っている。 <p>◎札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康・医療分野」等を重点分野として、産学官連携による研究開発に支援を行っている。 	A3842			

(2) その他の取組の成果等					
国等提案・要望状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の優位性を活かした地域イノベーション等の創出、航空宇宙に関する研究開発への支援等の充実強化、ものづくり産業の競争力強化を国に要望(H28.8) ・北海道における航空宇宙開発の推進を国に要望(H28.9、H29.1) ・航空宇宙に関する研究開発への支援等の充実・強化、本道の優位性を活かしたイノベーション創出、ものづくり産業の競争力強化を国に要望(H29.7) 	施策に関する道民ニーズ	<p>アンケート結果を踏まえ事業を展開</p> <p>【科学技術の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイエンスパークの来場者アンケート ・「来年も来たい」と回答した割合が94%(H29.7) ○科学技術審議会における意見 ・地域産業の活性化にはマーケット側の視点を持った人材育成が必要(H29.6) <p>【知的財産の創造・保護・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知財マネジメント普及モデル事業アンケート ・知的財産は事業展開する上で重要であり、適切なアドバイスが重要(H29.3) <p>【産学官連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コーディネータ・ネットワークフォーラムにおけるアンケート ・地域ブランド形成の事例を紹介してほしいとの要望が多かった(H28.10) ○航空宇宙パネル展アンケート ・道内の取組に関する認知度が低かった(H28.5) <p>【技術支援の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工業技術センター利用者アンケート ・利用者の8割以上が満足しているとの回答(H28) 		

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 - 13
-----	-----------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(4)A	「北海道バイオリーディング・プロジェクト」の推進に向け、「ヘルスイノベーション拠点」の形成や新産業創出を先導する「北海道バイオリーディング・プロジェクト」を推進する。	N0501	経済部食関連産業室	国(文部科学省)の地域イノベーション戦略支援プログラム「さっぽろヘルスイノベーションSmart-H」において、食・健康・医療の融合研究拠点の形成を目指した産学官による研究開発を支援し、道産機能性食品の開発促進、実用化、高付加価値化、販路拡大を進めている。
		N0511	経済部産業振興課	
-	航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向け、各種取組を一体的に推進する。	N0510	経済部産業振興課	経済部産業振興課が開催、もしくは参画する航空宇宙分野に関するセミナー等でリーフレットの配布等を行うとともに、航空宇宙分野に関する企業等のニーズ調査などの実施に当たり連携した取組を行っている。
-	ものづくり産業における良質で安定的な雇用創出に向け、本道企業の自動車・食関連機械産業への参入促進やものづくり企業の参入促進を図る。	N0510	経済部産業振興課	平成28年6月、経済部産業振興課と合同で、道総研、中小企業総合支援センター、ノーステック財団、地域の産業支援機関及びものづくり関連の業界団体で構成する「北のものづくりネットワーク」を立ち上げ、ものづくり企業をワンストップで支援する体制を整備し、全道的な協働体制で企業支援を実施。
2(4)C	本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転などを促進するとともに、地域におけるイノベーションを生み出す仕組みを構築するため、北海道科学技術振興戦略に基づき、産学官の共同研究を推進する。	N0203	総合政策部研究法人室	道総研が行う研究費等の財源を措置するとともに、大学やその他の試験研究機関に対してはノーステック財団が行うイノベーション創出研究支援事業などを通じて、道内における産学官による共同研究、事業化に支援を行っている。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
子ども達に科学技術を身近に体験し、理解を深めてもらうためのイベント「2017サイエンスパーク」を開催する。	北海道立総合研究機構	平成29年7月に、札幌駅前地下歩行空間及び道庁赤れんが庁舎において「2017サイエンスパーク」を開催した。北海道立総合研究機構9機関、民間企業40機関が参画することにより、効果的なPRを実施することができ、約2400人(うち小学生1300人)の来場につながった。
	民間企業	
北海道の航空宇宙分野に関する取組について効果的な情報発信を行うため、セミナーやパネル展を実施する。	十勝管内市町村(大樹町、帯広市)	平成29年1月に、帯広市内において「北海道航空宇宙セミナー」を開催した。道の航空宇宙参入可能性調査に関する中間報告発表会に併せて、十勝管内市町村等によるパネル等を展示した。 また、平成29年7月に、内閣府、経済産業省と共催して札幌市内ホテルモンテレーデルホフにおいて「S-NET北海道セミナー」を開催し、道内のIT企業等を対象に人工衛星データの利用に関する講演や道内企業の取組を紹介するパネル等を展示した。これらの取組により、北海道の航空宇宙分野の取組を効果的に情報発信することができた。
	十勝管内民間団体等	
北海道のものづくり産業の振興に向けた人材の育成、確保のため、道内工業高等専門学校ロボコン及び研究活動に関する展示会を開催する。	道内4高専 (函館、苫小牧、釧路及び旭川工業高等専門学校)	平成28年9月に、道政広報コーナー(特設展示場A)において「北海道内工業高等専門学校のロボコン及び研究活動に関する展示会」を開催した。道有施設を活用することにより、広く道民に高専技術の情報を発信することができた。
北大R&BP構想を推進するため、関係機関と連携して、これまでの成果の事業化に向けたセミナーやベンチャー企業向けピッチイベントを開催する。	ノーステック財団、北海道大学、札幌市等	道が参画している北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会では、平成28年7月に札幌市内において、北大リサーチ&ビジネスパーク地域イノベーション戦略推進事業「さっぽろヘルスイノベーション 'Smart-H」や、北海道大学における研究成果を紹介する「ライフサイエンスセミナー」を開催した。北大リサーチ&ビジネスパーク協議会の参画機関が連携することで、効率的にベンチャー企業等へ情報発信することができた。

連携内容	連携先	取組の実績と成果
北大フード&メディカルイノベーション国際拠点を中心に実施される、「食と健康の達人」プロジェクトに参画し、研究開発や事業化の取組を推進する。	北海道大学等	北大フード&メディカルイノベーション国際拠点が代表機関として進める「食と健康の達人」プロジェクトの参画機関として、文部科学省などの視察や定期的に開催される参画機関会議等に参加し、随時、情報交換を行っている。
	民間企業	
北海道経済産業局など道内の知的財産施策を実施している産学官金の関係29機関と連携し、北海道の産業競争力強化に向け、中小企業等の知財活用の促進や海外展開の支援、道内の地域ブランド形成の支援等の取組を実施する。	北海道経済産業局等	北海道経済産業局を中心とする知的財産戦略本部の構成機関等と連携し、知的所有権センター設置による北海道発明協会を中心とする知財相談体制への参画、日本弁理士会北海道支部との協働による訪問事業、及び中小企業総合支援センターへの助成による海外展開への支援等により、中小企業等への普及啓発や活動支援を効果的に行うことができた。
		(連携先：札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海道経済産業局、北海道経済連合会など) 道内3医育大学が共同で運営する「北海道臨床開発機構」の推進運営委員会に参画し、再生医療分野を含む先進的な医薬品や医療機器等の早期実用化・産業化等に向けたプロジェクトを推進する。 <成果> 「北海道TR推進運営委員会」において、3医育大学をはじめとする参画機関と、プロジェクトの進捗状況の情報共有、意見交換等を行っている。

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 - 13
-----	-----------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名		目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37	年度	H28					
産学官の共同研究の件数	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37	年度	H28	H29	進捗率	北大R&BP構想の推進や、全道産学官ネットワーク推進協議会などの取組を行う中、道内における産学官による共同研究が進み、目標を上回る実績が得られており、研究成果の移転に向けた取組が進捗している。		
	基準値	1007	目標値	1,037	最終目標値	1100	目標値	1036	1,037	1100			
【指標の説明】 道内の大学及び道立試験研究機関と民間企業等との共同研究の件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	1147	—	1147	達成率		
	北海道総合計画		2(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	110.7%	—	104.3%			
関①	指標名		目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31	年度	H28					
航空宇宙分野における研究・実験の道内への新たな誘致	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31	年度	H28	H29	進捗率	大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、着実に目標値を達成している。		
	基準値	0	目標値	3	最終目標値	5	目標値	2	3	5			
【指標の説明】 大学等研究機関や民間企業等が道内で新たに実施した航空宇宙分野及び当該分野関連技術を活用した研究・実験の件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	2	—	2	達成率		
	北海道創生総合戦略		2(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	100.0%	—	40.0%			
他①	指標名		目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H29	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H24	年度	H29	最終年度	H29	年度	H28					
「サイエンスパーク」参加児童生徒数	基準年度	H24	年度	H29	最終年度	H29	年度	H28	H29	進捗率	チラシを札幌市内の全小学生に配布するなど積極的なPRを行ってきた結果、夏休みの小学生向け科学イベントとして定着してきている。		
	基準値	600	目標値	800	最終目標値	800	目標値	800	800	800			
【指標の説明】 サイエンスパークにおける、参加児童生徒の人数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	1400	1300	1300	達成率		
	新北海道科学技術振興戦略		2(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	175.0%	162.5%	162.5%			

他②	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29					
地域団体商標新規出願数		基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29	年度	H28	H29	進捗率	平成26年8月に地域団体商標の登録主体が拡充されたのを契機に、関係機関と連携して制度の周知に取り組んできた結果、新たな出願が増加している。
		基準値	44	目標値	56	最終目標値	56	目標値	54	56	56	
〔指標の説明〕 道内の団体が、特許庁に出願した地域団体商標の累計	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	52	—	52		
	新北海道科学技術振興戦略		2(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	96.3%	—	92.9%		

他③	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29					
特許流通サポーターによる特許流通相談件数		基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29	年度	H28	H29	進捗率	セミナーや展示会等に積極的に参加し、企業等と関わる機会を増やしてきた結果、制度の認知度が向上し、相談件数が増えている。
		基準値	605	目標値	630	最終目標値	630	目標値	630	630	630	
〔指標の説明〕 北海道知的所有権センターに配置している特許流通サポーターによる1年間の特許流通に関する相談件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	725	—	725		
	新北海道科学技術振興戦略		2(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	115.1%	—	115.1%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	—
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調査

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 - 13
-----	-----------------	-------	---------

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	平成29年度					創生総合戦略	強靱化計画	新・北海道ビジョン	前年度付加意見	付加意見への所管部局の対応(H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費(千円)	うち一般財源	執行体制								フルコスト(千円)	点検事項		
									本庁	出先機関	人工計							付加意見への所管部局の対応(評価時点)	推進事項	方向性
0701	2(4)C	関①	研究開発推進事業費(フロンティア分野研究開発推進費)	宇宙・海洋分野での研究開発を推進するためのプロジェクト誘致や普及活動等	科学技術振興室		124	124	0.1	0.0	0.1	924			○				現状維持	
0702	2(4)C	関①	研究開発推進事業費(北海道宇宙科学技術創成センター活動支援事業補助金)	宇宙分野での研究開発を推進するためのプロジェクト誘致や普及活動等	科学技術振興室		1,400	1,400	0.5	0.0	0.5	5,400	○		○				現状維持	
0703	2(4)C	関①	研究開発推進事業費(航空宇宙関連推進費)	航空宇宙関連の研究開発や実験等の誘致、国の射場のあり方検討の状況についての情報収集	科学技術振興室		4,094	4,094	0.5	0.0	0.5	8,094	○		○				終了	
0704	2(4)A		研究開発推進事業費(健康づくり・ヘルスケアサービス導入基盤構築促進事業費)	地域別健康リスクの分析や現役世代向けヘルスケアサービスの需給実態調査を行い、本道のヘルスケアサービスの振興に向けた検討を行う。	科学技術振興室		11,847	11,847	0.1	0.0	0.1	12,647	○		○				終了	
0705	2(4)C	他①	研究開発推進事業費(科学技術振興戦略推進費)	「北海道科学技術振興条例」の基本計画となる「新北海道科学技術振興戦略」に基づく科学技術の振興に関する施策の推進等	科学技術振興室		6,532	6,532	6.8	0.0	6.8	60,932			○				拡充	
0706	2(4)C		科学技術振興室総合調整等業務	室職員の管理・監督、議会事務、対外調整及び企画に関する事務、科学技術審議会に関する事務、各種表彰事務、その他室の庶務に関する事務等	科学技術振興室		0		4.3	0.0	4.3	34,400			○				現状維持	
0707	2(4)C	主①	研究開発推進事業費(R&BP整備推進事業費)	産学官連携による研究開発から事業化までの一貫したシステムの構築等を、北大をはじめ全道の主要地域で推進。(独)中小機構が北大キャンパス内に設置したインキュベーション施設を活用し、大学発ベンチャー企業等の創業や育成を支援する。	科学技術振興室		15,105	15,105	3.0	0.0	3.0	39,105	○		○				拡充	

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 - 13
-----	-----------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(4)C	4	1				A・B指標のみ	<p><産学官の共同研究の件数【A】> 北大R&BP構想の推進や、全道産学官ネットワーク推進協議会などの取組を行う中、道内における産学官による共同研究が進み、目標を上回る実績が得られており、研究成果の移転に向けた取組が進められている。</p> <p><航空宇宙分野における研究・実験の道内への新たな誘致【A】> 大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、目標値を達成しており、着実な進捗が図られている。</p> <p><「サイエンスパーク」参加児童生徒数【A】> チラシを札幌市内の全小学生に配布するなど積極的なPRを行ってきた結果、夏休みの小学生向け科学イベントとして定着してきている。</p> <p><地域団体商標新規出願数【B】> 平成26年8月に地域団体商標の登録主体が拡充されたのを契機に、関係機関と連携して制度の周知に取り組んできた結果、新たな出願が増加している。</p> <p><特許流通サポーターによる特許流通相談件数【A】> セミナーや展示会等に積極的に参加し、企業等と関わる機会を増やしてきた結果、制度の認知度が向上し、相談件数が増えている。</p>
						-	
計	4	1	0	0	0	A・B指標のみ	
	5						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	産学官金等の協働による研究開発、公設試験研究機関等を通じた技術支援のほか、航空宇宙分野など新産業創出に向けた研究開発など、社会情勢や産業ニーズを踏まえた取組を行っている。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	航空宇宙に関する研究開発への支援等の充実・強化、本道の優位性を活かしたイノベーション創出、ものづくり産業の競争力強化など、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	各種イベント開催時におけるアンケート調査のほか、科学技術審議会や地域懇談会において有識者や産学官関係者から有用な意見を聴取し、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	「北海道バイオリディング・プロジェクト」の推進など、政策の実現に向けた取組において、関係する施策間・部局間で連携した成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	「2017サイエンスパーク」など、政策の実現に向けた取組として、地域・民間と効果的に連携した成果が確認できる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	2(4)C	国が進める第4次産業革命への対応も踏まえ、関係機関と連携を図りながら生産性向上に資するAI、IoTの活用などを推進する取組を進める。	A3412		C01305 C02205 C03707 C06502
②	2(4)C	北海道が、我が国の航空宇宙産業の発展に寄与し道内経済の活性化が図られるよう、引き続き、国に対し人工衛星データの利活用を含む各種研究開発等を進めるとともに、民間事業者等による人工衛星等の打上げに対する支援を要望する。また、道内企業の航空宇宙分野への参入が促進される取組を進める。	A3851		C03201 C03202
③	2(4)C	道内ものづくり産業の振興に向け、地域のコーディネート能力強化に向けた効果的な施策を検討中。	A3412		C01304 C01805 C02206 C02208 C06504
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05	—	13
-----	-----------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 - 13
-----	-----------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・平成30年度からスタートする「北海道科学技術振興計画」において、「AI・IoT等利活用分野」を重点化プロジェクトの一つと位置づけ、AI/IoTなどの先進技術の利活用を進める。 ・大学や企業等による研究開発支援や研究成果等の普及啓発などを進めるため、関係機関等と連携しながら新規のAI/IoT等先端技術導入推進事業に取り組む。 (新規: AI/IoT等先端技術導入促進事業費、 新規: 寒冷環境対応IoT製品等の開発支援整備事業費)	
②	<新たな取組等> ・平成30年度からスタートする「北海道科学技術振興計画」の重点化プロジェクト「先進的ものづくり分野」において、「航空宇宙分野における研究開発・実証」をその取組の一つと位置づけ、機器の製造や衛星データの活用など、新たな産業を生み出す研究開発を推進する。 ・新規の宇宙産業育成事業において、企業、大学、行政機関等で構成する協議会を設立し、道内企業による衛星データビジネスの創出を促すとともに、国に対して必要な要望を行う。 (新規: 宇宙産業育成事業費)	
③	<新たな取組等> ・平成30年度からスタートする「北海道科学技術振興計画」において、「先進的ものづくり分野」を重点化プロジェクトの一つと位置づけ、本道経済の活性化を牽引する、ものづくり産業の振興を図る。 ・道内各地域のものづくり系支援機関に配置したコーディネーターと連携し、「北のものづくりネットワーク」を活用しながら、道内ものづくり企業への技術的支援を効果的に実施していく。	
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05 — 13
-----	-----------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果		0 事業	3 事業	11 事業	2 事業	0 事業	0 事業	3 事業	19 事業
反映結果		- 事業	1 事業	12 事業	3 事業	0 事業	0 事業	3 事業	19 事業

次年度新規事業 (予定)
3 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0701	研究開発推進事業費(フロンティア分野研究開発推進費)	現状維持	現状維持
0702	研究開発推進事業費(北海道宇宙科学技術創成センター活動支援事業補助金)	現状維持	現状維持
0703	研究開発推進事業費(航空宇宙関連推進費)	終了	終了
0704	研究開発推進事業費(健康づくり・ヘルスケアサービス導入基盤構築促進事業費)	終了	終了
0705	研究開発推進事業費(科学技術振興戦略推進費)	拡充	現状維持
0706	科学技術振興室総合調整等業務	現状維持	現状維持
0707	研究開発推進事業費(R&BP整備推進事業費)	拡充	縮小
0708	科学技術振興事業費補助金(研究開発支援事業費補助金)	縮小	縮小
0709	研究開発推進事業費(知的所有権センター事業費)	現状維持	現状維持
0710	研究開発推進事業費(科学技術振興戦略推進費(北海道中小企業総合支援センター補助金))	現状維持	現状維持
0711	ものづくり支援センターに関すること	現状維持	現状維持

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0712	高度技術産業集積活性化事業費(工業技術センター指定管理者、委託)	拡充	拡充
0713	高度技術産業集積活性化事業費(団補)	縮小	縮小
0714	JKA(旧日本自転車振興会)補助金に関する事務	現状維持	現状維持
0715	その他公設試験研究機関等に関する事務	現状維持	現状維持
0716	北海道産学官共同研究拠点に関する事務	現状維持	現状維持
0717	参入促進支援事業	現状維持	現状維持
0718	北海道立工業技術センター機能強化事業	終了	終了
0719	高度技術産業集積活性化事業(機器整備)	現状維持	現状維持